

# 健康日本 2 1 福岡市計画 現行計画の結果と課題

# 現行計画の結果と課題

## 1 現行計画の概要

### (1) 経緯

現行計画は、平成 13 年度に策定し、平成 18 年度に中間評価・中間見直しの上、平成 20 年度に追加・増補を行いました。平成 24 年度に 12 年間の計画期間を終了します。

### (2) 性格

現行計画は、市民と行政の行動計画として策定し、平成 15 年度の健康増進法制定に伴い、同法第 8 条に基づく市町村健康増進計画として位置づけました。

### (3) 目的

「市民一人ひとりが自主的に健康づくりを進めていけるよう、個人の健康目標や市民の健康づくりを支援する行政や関係団体等の役割を明確にし、社会全体で健康づくりに取り組むことで、40 歳から 50 歳代の壮年期、いわゆる働き盛りの世代の死亡数を減らし、さらには市民の健康寿命を延伸させ、生活の質の向上を図る」ことを目的としました。

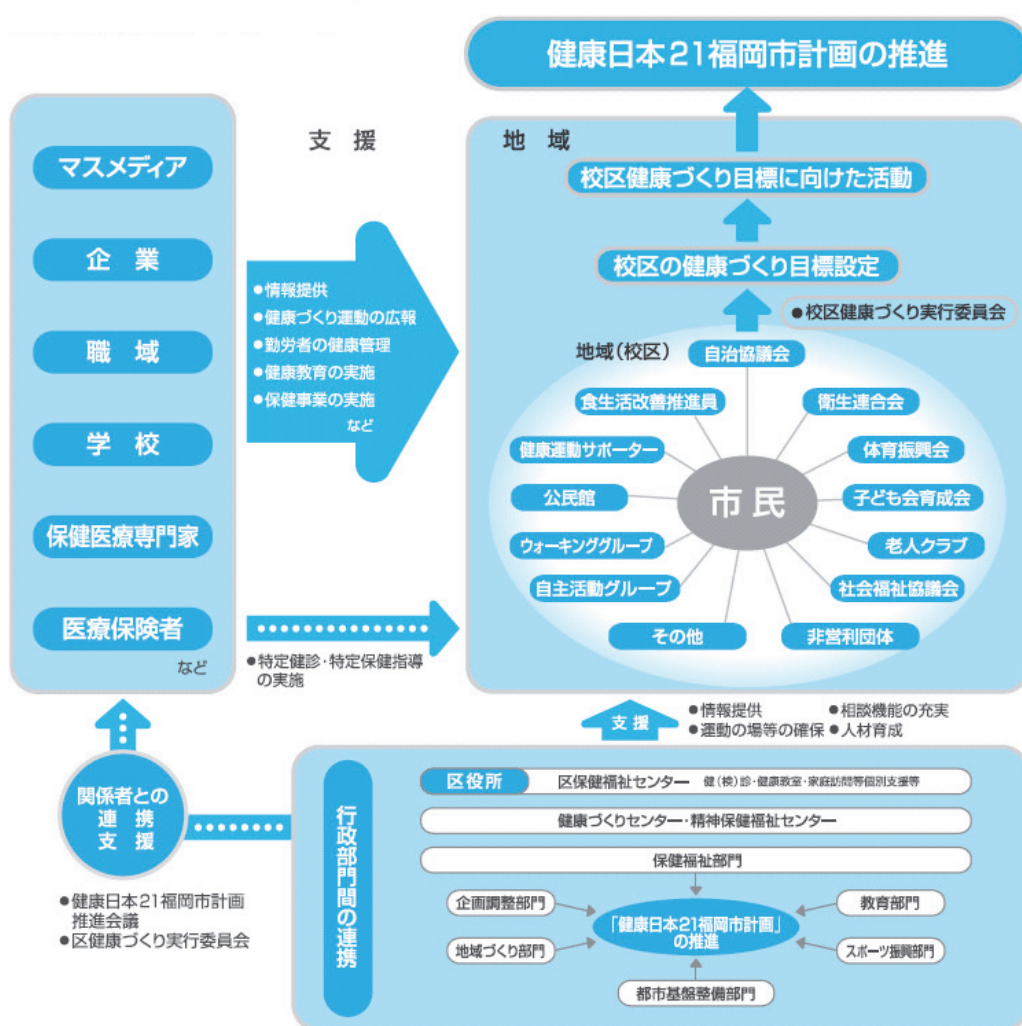
### (4) 基本的な方向性等

現行計画では、基本的な方向性を、「市民が主役の健康づくり」「一次予防の重視」「生活習慣病対策の推進」「健康づくりの視点を持ったまちづくり」等とし、93 項目の数値目標を掲げました。

## (5) 推進体制

校区，区，市の3つのレベルに依じて，校区健康づくり実行委員会，区健康づくり実行委員会，健康日本21福岡市計画推進会議にて計画を推進しました。

現行計画推進のイメージ



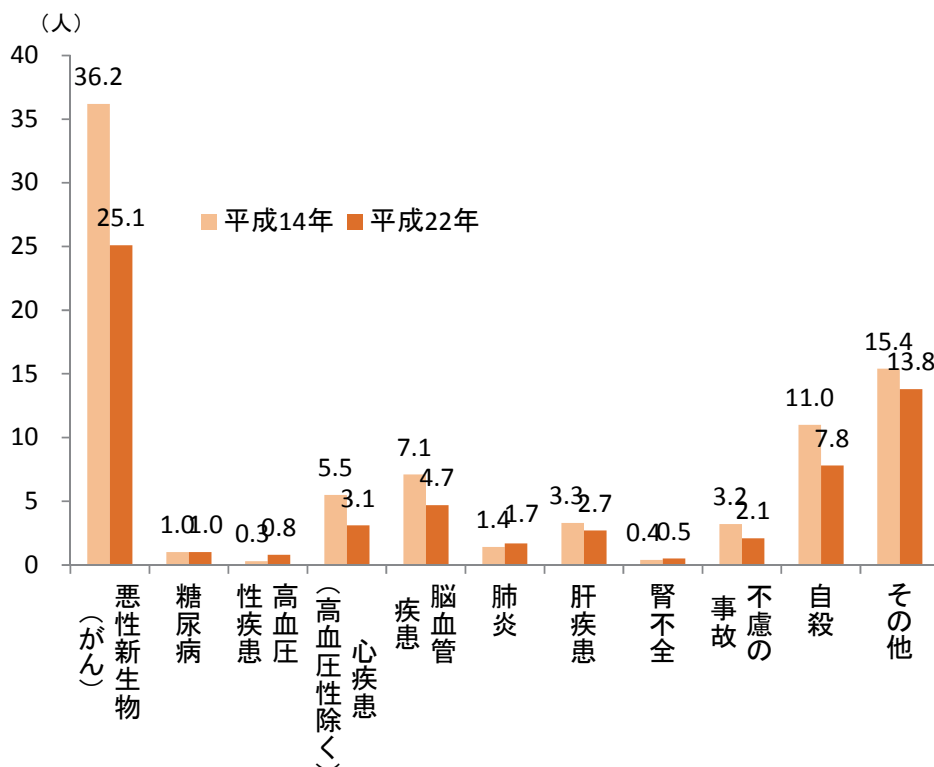
## 2 結果概要

### (1) 壮年期の死亡率

現行計画の目的に掲げた40歳から50歳代の壮年期、いわゆる働き盛りの世代の死亡数について、平成14年と22年の人口10万人対死亡率を比較すると、40歳代では21.3人から17.2人へ、50歳代では63.5人から46.1人へといずれも低下しており、良好な結果となっています。

疾病別死亡率でも、悪性新生物（がん）をはじめ、ほとんどの項目で数値が低下しています。

福岡市における壮年期（40歳代、50歳代）の疾病別死亡率（人口10万人対）



資料) 福岡市保健福祉局

## (2) 健康目標

現行計画に掲げた 93 項目の健康目標の結果は以下のとおりです。

A「目標値に達している」 B「目標値に近づいている」を合わせると、全体の約 6 割で改善が見られました。

健康目標の結果

	評価区分 (策定時の値と直近値を比較)	該当項目数	割合
A	目標値に達している	5 項目	5.4%
B	目標値に近づいている	51 項目	54.8%
C	目標値と同じか遠ざかっている	21 項目	22.6%
-	評価不能 (制度改変等により)	16 項目	17.2%

各評価区分のうち、主なものは以下のとおりです。食育への関心や歯の健康、心疾患死亡率に関しては改善が見られました。

男女を比べると、女性の健康づくりに関する項目で、あまり改善が進んでいない状況が見られます。

### A評価 (5 項目)

指標	策定時	目標値	現状値
食育に関心がある人 (20 歳以上) 【市政アンケート調査】	77.6% (平成 18 年度)	90%以上	93.4% (平成 24 年度)
自分の歯を 20 歯以上有する人 (75~84 歳) 【高齢者実態調査】	28.4% (平成 18 年度)	35%以上	40.2% (平成 22 年度)
一人平均むし歯数 (3 歳児) 【3 歳児健康診査問診】	1.2 歯 (平成 13 年度)	1 歯未満	0.68 歯 (平成 23 年度)
虚血性心疾患による年齢調整死亡率 (男性)	28.0 人 (平成 20 年度)	10%以上 減少	21.0 人 (25%減) (平成 23 年度)
虚血性心疾患による年齢調整死亡率 (女性) 【人口動態統計】	11.6 人 (平成 20 年度)	10%以上 減少	9.6 人 (17%減) (平成 23 年度)

### B評価（51項目）

指標	策定時	目標値	現状値
1日30分以上早足で歩く人（30～64歳） 【市民アンケート】	34.4% （平成18年度）	50%以上	37.4% （平成24年度）
睡眠が不足している人（若者期）	34.1% （平成20年度）	21%以下	26.3% （平成24年度）
睡眠が不足している人（成人期）	29.1% （平成20年度）	21%以下	26.9% （平成24年度）
睡眠が不足している人（高齢期） 【市民アンケート】	16.6% （平成20年度）	10%以下	16.5% （平成24年度）
一人平均むし歯数（12歳児） 【学校保健統計調査】	2.3歯 （平成13年度）	1歯未満	1.38歯 （平成23年度）
メタボリックシンドロームを知っている人 （30～64歳） 【市民アンケート】	85.4% （平成18年度）	100%	90.1% （平成24年度）

### C評価（21項目）

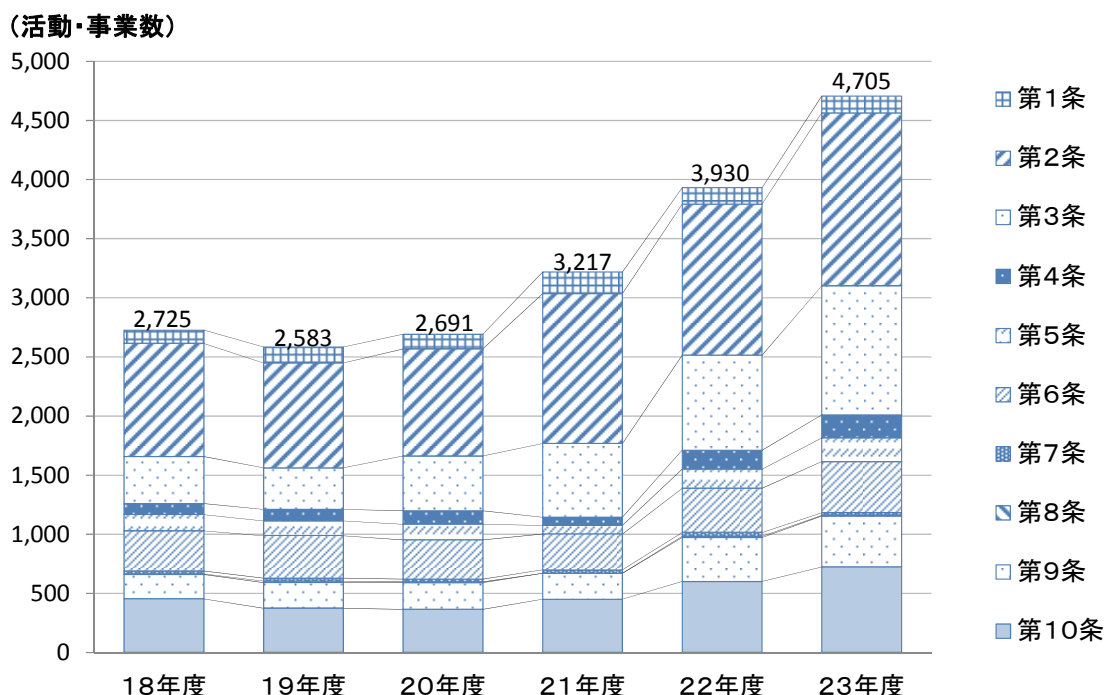
指標	策定時	目標値	現状値
運動習慣を持つ人（10～20歳代女性） 【市民アンケート】	48.8% （平成13年度）	60%以上	43.5% （平成24年度）
1日3食規則正しく食べる人（成人期・男性）	56.5% （平成18年度）	75%以上	56.0% （平成24年度）
1日3食規則正しく食べる人（成人期・女性） 【市民アンケート】	73.2% （平成18年度）	90%以上	65.3% （平成24年度）
毎日飲酒する人（成人期・女性） 【市民アンケート】	5.6% （平成13年度）	3%以下	9.5% （平成24年度）
肥満男性（30～50歳代） 【健康診査データ】	30.5% （平成13年度）	20%以下	31.6% （平成23年度）
やせすぎの女性（18～20歳代） 【ヘルスアップスクールデータ】	27.7% （平成13年度）	15%以下	32.7% （平成22年度）

### （3）地域の取組状況

現行計画では、住民による自主的な健康づくりを推進するため、わかりやすい健康目標として「健康ふくおか10か条」を作成しました。ほぼすべての小学校区で、地域のさまざまな団体が集まって「校区健康づくり実行委員会」を

組織し、毎年「健康ふくおか 10 か条」に基づく健康目標を設定の上、保健福祉センターと連携しながら、講座・教室、ウォーキング大会、ウォーキングマップ作成など、さまざまな健康づくり活動に取り組みました。その結果、活動数は着実に伸びてきました。

中間評価以降の6か年における校区での健康日本 21 関連事業の取組状況



健康ふくおか 10 か条

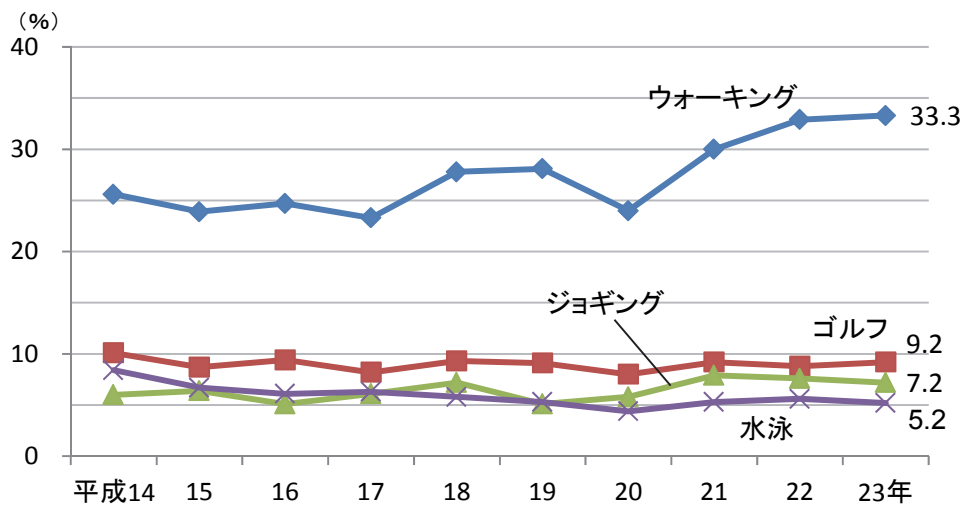
- 第1条 健康（適正）体重を知り、維持しましょう
- 第2条 運動を、身近なところで楽しみながら日常生活の中に取り入れましょう
- 第3条 人との交流を楽しみ、上手にストレスを解消しましょう
- 第4条 家族や仲間と楽しく食事をしましょう
- 第5条 朝食で元気な1日を始めましょう
- 第6条 質・量を考えて、主食・主菜・副菜を基本に薄味の食事をしましょう
- 第7条 たばこの悪影響を知り、禁煙、防煙、分煙の輪を広げましょう
- 第8条 適正飲酒を守りましょう
- 第9条 8020 を目指して歯の定期的なチェックを受けましょう
- 第10条 年に1回は健診を受けましょう

#### (4) 歩きたくなるまちづくり

地域住民と、保健福祉センターを中心とした福岡市の関係部署が連携して、ウォーキングコースの設定やマップづくりに取り組んでおり、109の校区に462のコースが設定されました。

こうした活動に近年のウォーキングブームも加わって、福岡市のウォーキング人口は、この10年で27万人（20歳以上市民の25.6%）から39万人（33.3%）に増えました。

福岡市民が行っているスポーツ（上位4項目）



資料) 平成23年度 福岡市新・基本計画の成果指標に関する意識調査

#### (5) 現行計画と「健康ふくおか10か条」の認知度

平成18年度の中間見直しの時に行った市民アンケートの結果では、「健康日本21福岡市計画」や「健康ふくおか10か条」を知っている人の割合は11.2%でしたが、今回行ったアンケート結果では14.5%に上昇しています。

特に、65歳以上の人の認知度は24%となっており、これは福岡市衛生連合会や校区健康づくり実行委員会など、地域での地道な活動によるものです。



## (6) 関係者意見

校区で健康づくりに取り組む校区衛生連合会役員や、保健福祉センターの校区担当保健師など、地域の健康づくり推進に携わってきた人々からは、地域での取組みが浸透したという評価とともに、今後の課題として次の意見が出されています。

- 93 項目の健康目標は多すぎる
- 10 年の計画期間は長すぎて地域の健康づくり目標の維持が困難
- 地域役員の負担が大きい
- 参加者が固定化しており、新たな参加者を増やすための工夫が必要
- 地域の団体間の連携が難しい
- 「健康ふくおか 10 か条」推進のため、内容・手法により一層の工夫が必要
- 役員のなり手がいない

また、平成 23 年度に開催した「健康日本 2 1 福岡市計画次期計画準備検討会」での意見は、次のとおりです。

- WHO（世界保健機関）の健康の定義のひとつである「社会参加」を指標に入れるべき
- 地域版の健康日本 2 1 も必要
- うつ病などのこころの健康に関する啓発が必要
- 喫煙・受動喫煙対策が急務
- 健康づくりを長く続けるためには、「楽しさ」「内発的な動機」「瞳が輝くもの」であることが必要

## 現行計画の健康目標結果一覧

分野	指 標	目 標 値	策定時値 (H13)	中間値 (H18)	追加・増 補時の現 状値・基 準値 (H20)	現状値	評価
運 動	運動習慣をもつ人(10～20歳代) (市民アンケート)	男性 女性	70%以上 60%以上	64.5% 48.8%	62.6% 49.2%	63.6% 43.5%	C C
	運動習慣をもつ人(30～50歳代) (健康診査問診)	男性 女性	55%以上 55%以上	44.7% 43.6%	42.6% 39.3%	(参考値) 30.3% 21.0%	— —
	運動習慣をもつ人(60歳以上) (健康診査問診)	男性 女性	75%以上 66%以上	65.9% 57.4%	63.1% 52.6%	(参考値) 55.1% 45.1%	— —
	1日30分以上速歩で歩く人(30～64歳) (市民アンケート)		50%以上	—	34.4%	37.4%	B
	意識して生活の中で歩く人(30～64歳) (市民アンケート)	男性 女性	70%以上 70%以上	/	61.0% 63.8%	65.9% 65.9%	B B
	意識して生活の中で歩く人(65歳以上) (市民アンケート)	男性 女性	85%以上 80%以上	/	76.7% 69.2%	75.0% 70.4%	C B
	メンタル	ストレスのために体調を崩す人(10～20歳代) (市民アンケート)	男性 女性	25%以下 40%以下	35.5% 55.7%	34.1% 53.9%	25.9% 40.7%
気分転換やストレス解消のために行動する人(成人期) (健康診査問診)		男性 女性	75%以上 75%以上	69.1% 66.5%	67.5% 68.6%	62.3% 66.4%	C C
何らかの地域活動を実践している人(高齢者期) (市政に関する意識調査)			65%以上	42.4%	50.5%	50.8% 57.5%	全体B 高齢B
睡眠が不足している人(若者期) (市民アンケート)			21%以下	/	/	34.1% 26.3%	B
睡眠が不足している人(成人期) (市民アンケート)			21%以下	/	/	29.1% 26.9%	B
睡眠が不足している人(高齢者期) (市民アンケート)			10%以下	/	/	16.6% 16.5%	B
自殺者数(若者期) (人口動態統計)			(参考値)	/	/	43人 42人	B
自殺者数(成人期) (人口動態統計)			平成28年 までに、 17年の自 殺者数 を、20% 以上減少	/	/	228人 219人	B
自殺者数(高齢者期) (人口動態統計)			/	/	/	50人 67人	C
楽しい食事		朝食を毎日食べる人(幼児) (幼児期の健康と食生活に関する調査) (財団 幼児期の生活習慣調査)		100%	80.1% —	— 82.9%	89.6%
	朝食を毎日食べる人(小学生) (朝食調査・教育委員会)		100%	83.2%	81.2%	91.1%	B
	朝食を毎日食べる人(10～20歳代) (市民アンケート)	男性 女性	70%以上 80%以上	56.4% 68.7%	54.5% 67.0%	60.1% 65.5%	B C
	腹八分目の食事をとる人(成人期) (健康診査問診)	男性 女性	80%以上 80%以上	67.5% 69.2%	68.6% 77.6%	(参考値) 70.9% 77.8%	— —
	楽しい雰囲気でする人(成人期・高齢者期) (健康診査問診)	男性 女性	75%以上 80%以上	65.3% 71.9%	61.8% 67.9%	(参考値) 62.1% 67.7%	— —
	1日3食規則正しく食べる人(成人期) (健康診査問診)	男性 女性	75%以上 90%以上	59.3% 79.1%	— —	— —	— —
	(市民アンケート)	男性 女性	— —	— —	56.5% 73.2%	56.0% 65.3%	C C

分野	指 標	目 標 値	策定時値 (H13)	中間値 (H18)	追加・増 補時の現 状値・基 準値 (H20)	現状値	評価	
楽しい食事	緑黄色野菜をほとんど毎日食べる人(成人期) (健康診査問診)	男性 女性	50%以上 75%以上	32.2% 56.9%	28.0% 49.8%	(参考値) 28.7% 51.8%	— —	
	よく噛んで食事する人(高齢者期) (健康診査問診)	男性 女性	20%以上 20%以上	9.1% 8.9%	9.9% 10.2%	(参考値) 11.9% 11.0%	— —	
	濃い味付けの食事をする人(高齢者期) (健康診査問診)	男性 女性	12%以下 5%以下	24.6% 8.9%	28.0% 10.2%	(参考値) 26.4% 8.3%	— —	
	食育に関心がある人(20歳以上) (平成18年度市民アンケート)		90%以上	/	77.6%	93.4%	A	
健康管理	健康(適正)体重を維持している人 (健康診査データ)	18~20歳代のやせすぎの女性	15%以下	27.7%	29.2%	32.7%	C	
	(健康診査データ)	30~50歳代肥満男性	20%以下	30.5%	33.2%	31.6%	C	
	(健康診査データ)	40歳以降の肥満女性	15%以下	19.8%	20.5%	15.7%	B	
	未成年者の喫煙 (未成年の喫煙・飲酒行動に関する全国調査)	中1男子 中1女子	0% 0%	7.5% 3.8%	3.2% 2.4%	1.6% 0.9%	B B	
	未成年者の喫煙 (未成年の喫煙・飲酒行動に関する全国調査)	高3男子 高3女子	0% 0%	36.9% 15.6%	21.7% 9.7%	8.6% 3.8%	B B	
	たばこを吸う人(成人期) (4か月児健康診査時の父母への問診)	男性 女性	40%以下 8%以下	59.6% 12.6%	47.3% 9.5%	36.4% 5.2%	B B	
	妊婦の喫煙 (4か月児健康診査時の母への問診)		0%	8.8%	7.4%	4.5%	B	
	未成年者の飲酒 (未成年の喫煙・飲酒行動に関する全国調査)	中3男子 中3女子	0% 0%	25.4% 17.2%	16.7% 14.7%	7.4% 10.1%	B B	
	未成年者の飲酒 (未成年の喫煙・飲酒行動に関する全国調査)	高3男子 高3女子	0% 0%	51.5% 35.9%	38.5% 32.0%	21.3% 17.1%	B B	
	毎日飲酒する人(成人期) (健康診査問診)	男性 女性	20%以下 3%以下	33.6% 5.6%	30.2% 5.4%	29.3% 9.5%	B C	
	一人平均むし歯数(3歳児) (3歳児健康診査問診)		1歯未満	1.2歯	1.0歯	0.68歯	A	
	一人平均むし歯数(12歳児) (学校保健統計調査)		1歯未満	2.3歯	1.8歯	1.38歯	B	
	歯の定期的なチェックを受ける人(20歳代) (平成10年度健康・医療に関する市民意識調査) (市民アンケート)		45%以上	10.5% —	— 36.5%	— 40.4%	— B	
	歯の定期的なチェックを受ける人(20~64歳) (平成10年度健康・医療に関する市民意識調査) (市民アンケート)		55%以上	16.1% —	— 42.7%	— 45.2%	— B	
	国保特定健診受診率(成人期) (基本健康診査、国保特定健診データ)		65%	/	/	15.2%	18.8%	B
	国保特定保健指導実施率(成人期) (国保特定健診等データ)		45%	/	/	29.9%	37.2%	B
	国保特定健診で要医療と判定された人の医療機関受診率(成人期) (国保特定健診データ、国保レセプト〔電子化〕データ)		100%	/	/	/	不明	—

分野	指 標	目 標 値	策定時値 (H13)	中間値 (H18)	追加・増 補時の現 状値・基 準値 (H20)	現状値	評価	
健康 管理	がん検診受診率(成人期) (市がん検診データ)	胃Ca 子宮Ca 乳Ca 大腸Ca	50%以上	7.0% 14.6%	9.0% 16.3% 8.3% 7.3%	8.5% 27.9% 9.7% 7.1%	8.5% 36.7% 17.1% 6.5%	B B B C
	相談できるかかりつけ医をもっている人(高齢者期) (福岡市高齢者実態調査)		90%以上	80.5%	80.4%		81.6%	B
	自分の歯を有する人(75歳～84歳)20歯以上 (福岡市高齢者実態調査)		35%以上		28.4%		40.2%	A
	進行した歯周炎を有する人 (歯科健診データ)	40歳 50歳	22%以下 33%以下			27.9% 36.4%	20.6% 41.9%	B C
シメ ンタ ド ロ リ ッ ク ム ク	メタボリックシンドロームを認知している人(30～64歳) (市民アンケート)		100%		85.40%		90.10%	B
	メタボリックシンドローム予備群の人 (基本健康診査、国保特定健診データ)	男性 女性	平成20年 度から 10%以上 減少			(参考値) 9.50% 7.80%	18.90% 6.20%	C B
	メタボリックシンドローム該当者 (基本健康診査、国保特定健診データ)	男性 女性				(参考値) 16.20% 9.30%	22.40% 6.80%	C B
糖 尿 病	糖尿病を放置すると大きな合併症が発生することを 認識している人(40歳以上) (市民アンケート)		100%	—	95.00%		89.50%	C
	健診で血糖値が高いと言われた人の中で、定期的に受診する人 (40歳以上) (糖尿病実態調査)		100%	51.30%	54.90%		(参考値) 55.70%	—
	糖尿病予備群の人 (基本健康診査、国保特定健診データ)	男性 女性	現状値か ら 10%以上 減少			25.40% 23.20%	20.30% 19.20%	B B
	糖尿病有病者の人 (基本健康診査、国保特定健診データ)	男性 女性				18.10% 8.60%	14.60% 6.40%	B B
高 血 圧	年1回の定期健診以外でも血圧を測る人(40歳以上) (市民アンケート)		100%	—	74.90%		74.30%	C
	高血圧症予備群の人 (基本健康診査、国保特定健診データ)	男性 女性	現状値か ら 10%以上 減少			22.80% 21.50%	14.30% 13.30%	B B
	高血圧症有病者の人 (基本健康診査、国保特定健診データ)	男性 女性				39.20% 30.90%	49.00% 36.40%	C C
動 脈 硬 化 性 疾 患	脳卒中の典型的な初期症状を認識している人(40歳以上) (市民アンケート)		100%	—	77.60%		80.80%	B
	脂質異常症有病者の人 (基本健康診査、国保特定健診データ)	男性 女性	現状値か ら 10%以上 減少			49.60% 48.40%	45.20% 52.60%	B C
	脳卒中による死亡率(年齢調整) (人口動態統計)	男性 女性				42.9人 23.3人	40.8人 21.8人	B B
	虚血性心疾患による死亡率(年齢調整) (人口動態統計)	男性 女性				28.0人 11.6人	21.0人 9.6人	A A

※「現状値」欄の数値は、H22、23、24年度の数値を掲示。  
H21年度以前の数値は、「参考値」として掲示した。

判定区分

福岡市 評価	
A	直近値が目標値に達している
B	直近値が目標値に近づいている
C	直近値が策定時値と同じか 遠ざかっている
—	策定時の値が無い等評価できない